

一般社団法人日本育種学会 第132回講演会プログラム
2017年秋季 岩手大学

10月6日 (金)	午後	代議員会 15:00-18:00 (場所:農学部1号館)						
10月7日 (土)	午前	受付 8:00 開始 (学生センターA棟1階)						
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	
		学生センターC棟 GC1大 教室	学生センターC棟 GC2大 教室	学生センターA棟 G1大 教室	学生センターA棟 G2大 教室	学生センターA棟 G29 教室	学生センターA棟 G22 教室	
		ゲノム解析・ ゲノム育種 101-112 9:00-12:00	発生・生理 201-212 9:00-12:00	抵抗性・耐性 301-312 9:00-12:00	遺伝子機能 401-402 9:00-9:30	収量・品質 501-507 9:00-10:45	増殖・生殖 601-612 9:00-12:00	
					ゲノム解析・ゲノム育種 403 9:30-9:45			
					遺伝子機能 404-410 9:45-11:30	品種育成・ 遺伝資源 508-512 10:45-12:00		
	午後	○ サーマフィッシャーサイエンティフィック株式会社 ランチョンセミナー 12:10-13:00 (会場:第4会場 G2大教室) 「育種におけるIon TorrentシステムとAmpliSeqテクノロジーの活用 ～ゲノム情報をいかに利用するか～」 講演演者: 小木曾映里 (農研機構・次世代作物開発研究センター)						
		第59回シンポジウム (シンポジウム・ワークショップ) 13:15-17:30						
		○ シンポジウム 13:15-17:30 第1会場 学生センターC棟 GC1大 教室 途上国を救う日本の育種学研究～その課題と展望～ 主任:辻本 壽 Japan's breeding research to save developing countries - its task and prospective						
		○ ワークショップ 13:15-17:30						
		W01 Barley and wheat orthologous genes, their structure, function and application. 主任:Takao Komatsuda・Kazuhiro Sato						
		W02 遺伝資源新時代をチャンスに変えて(育種加速化のためのナビゲーション) 主任:山本昭夫						
W03 イメージセンシングで植物を測ろう -導入から解析まで- 主任:渡辺 翔								
W04 農学と育種学のこれからを考える34～形態をキーワードに育種を考える～ 主任:吉津祐貴 ほか4名								
W05 ダイズにおける育種の新しい流れ 主任:小木曾映里・石本政男								
< ワークショップ タイムテーブル >								
		第2会場	第3会場	第5会場	第6会場			
会場 時間	学生センターC棟 GC2大 教室	学生センターA棟 G1大 教室	学生センターA棟 G29 教室	学生センターA棟 G22 教室				
13:15-15:15	W01	W02	W05	W04				
15:30-17:30		W03						
懇親会 18:15-20:15 (ホテルメトロポリタン盛岡本館)								
10月8日 (日)	午前	受付 8:30 開始 (学生センターA棟1階)						
		ポスター発表 9:30-11:30 (第一体育館) 奇数番号 9:30-10:30 偶数番号 10:30-11:30						
		○ 男女共同参画推進委員会特別企画 ランチョンセミナー 12:00-13:00 (会場:第6会場 G22教室) 後援:男女共同参画学協会連絡会 テーマ:「国際婦人年の採用からー研究機関での35年間ー」 話題提供者:勝田真澄 (農研機構 北海道農業研究センター 所長) テーマ:「支えられて巻き込んで 子連れ単身赴任生活」 話題提供者:宮本尚子 (森林総合研究所 林木育種センター)						
	午後	○ イルミナ株式会社 ランチョンセミナー 12:00-12:50 (会場:第4会場 G2大教室) 「「ポストゲノム育種」を今、改めて考える」 講演演者:磯部祥子 (公益財団法人かずさDNA研究所)						
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場		
		学生センターC棟 GC1大 教室	学生センターC棟 GC2大 教室	学生センターA棟 G1大 教室	学生センターA棟 G2大 教室	学生センターA棟 G29 教室		
		ゲノム解析・ ゲノム育種 113-122 13:15-15:45	発生・生理 213-222 13:15-15:45	育種法・ 育種技術 313-322 13:15-15:45	遺伝子機能 413-417 13:15-14:30	品種育成・ 遺伝資源 513-522 13:15-15:45		
					ゲノム解析・ゲノム育種 418 14:30-14:45			
					遺伝子機能 419-422 14:45-15:45			
		10月9日 (月・祝)	午後	市民公開シンポジウム 12:30-16:30 (北桐ホール 教育学部総合教育研究棟)				

10月7日(土) 午前 口頭発表プログラム			
10月7日	第1会場 (GC1 大)	第2会場 (GC2 大)	第3会場 (G1 大)
	◆座長 李 鋒 (農研機構・次世代作物・放育場)	◆座長 川勝 泰二 (農研機構・生物機能利用)	◆座長 前田 哲 (農研機構・生物機能利用)
9:00	101 日長変化に反応するオオムギ出穂性 QTL の検出 ○半田 裕一, 最相大輔 2 (1. 農研機構次世代作物開発研究センター, 2. 岡山大学資源植物科学研究所)	201 コムギ花成促進遺伝子 <i>VRN1</i> のイントロンには <i>Polycomb</i> 構成因子 <i>EMF2</i> タンパク質が結合する ☆桑原 翼 1, 梅北 耕典 1, 長岐 清孝 2, 村田 稔 2, 村井 耕二 1 (1. 福井県大・生物資源, 2. 岡山大・資源植物科学研究所)	301 ダイズ <i>RXP</i> 遺伝子への T 挿入がダイズ葉焼病圃場抵抗性をもたらす ○田口 文緒 1, 高橋 浩司 1, 鈴木 倫太郎 2, 横田 侑子 1, 清水 武彦 1, 山崎 俊正 2, 山田 哲也 1, 小木 曾映里 1, 佐山 貴司 1,3, 山田 直弘 1,4, 大木 信彦 5, 穴井 豊昭 6, 片寄 裕一 1, 加賀 秋人 1, 石本 政男 1 (1. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 2. 農研機構・高度解析センター, 3. 現・西日本農研センター, 4. 現・長野県野菜花き試験場, 5. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 6. 佐賀大)
9:15	102 ソルガム不稔小穂の発達度合に関する GWA 解析 ☆七条 光年 1, 高梨 秀樹 1, 藤本 優 1, 鐘ヶ江 弘美 1, 石森 元幸 1, 小林 正明 2, 矢野 健太郎 2, 山崎 清志 1, 藤原 徹 1, 米田 淳一 3, 徳永 毅 3, 岩田 洋佳 1, 堤 伸浩 1 (1. 東大院・農生, 2. 明治大・農, 3.(株)アースノート)	202 コムギ花成促進因子 <i>VRN1</i> タンパク質は直接的に花成ホルモン遺伝子 <i>WFT</i> のプロモーター配列に結合する 田中 千裕 1, 伊藤 貴文 1, 岩崎 行玄 1, 水野 信之 2, 那須田 周平 2, ○村井 耕二 1 (1. 福井県大・生物資源, 2. 京大院・農)	302 イネいもち病抵抗性遺伝子 <i>Pita-2</i> は <i>Pita</i> の対立遺伝子ではない ○高橋 章 1, 林 長生 1, 廣近 洋彦 2 (1. 農研機構 生物機能, 2. 生物研)
9:30	103 ソルガム苞穎毛の先端構造に関する遺伝子座の探索 ☆三輪 幸哉 1, 七条 光年 1, 高梨 秀樹 1, 藤本 優 1, 鐘ヶ江 弘美 1, 石森 元幸 1, 小林 正明 2, 矢野 健太郎 2, 山崎 清志 1, 藤原 徹 1, 米田 淳一 3, 徳永 毅 3, 小童谷 利恵 4, 大西 紀和 4, 坂本 亘 4, 岩田 浩佳 1, 堤 伸浩 1 (1. 東大・院農生, 2. 明治大・農, 3. アースノート (株), 4. 岡山大・植物研)	203 コムギ新規早生遺伝子 <i>PCL1-3A</i> , <i>PCL1-3D</i> の早生対立変異の地理的分布と起源 ○加藤 鎌司 1, G.K.M.N. Haque 1, 佐藤 日向子 1, 西田 英隆 1, 水野 信之 2, 藤田 雅也 3, 那須田 周平 2 (1. 岡山大院環境生命, 2. 京都大院農, 3. 農研機構・作物開発センター)	303 講演取り消し
9:45	104 ソルガムの再生性がリグニン生成成遺伝子 <i>COMT</i> の非機能型アレル <i>bmr18</i> によって低下する可能性 ○米丸 淳一 1, 春日 重光 2, 川東 広幸 1 (1. 農研機構 次世代作物開発研究センター, 2. 信州大学農学部 AFC)	204 コムギにおける疑似分枝を制御する遺伝子の同定 ☆三橋 優衣 1, 佐久間 俊 2,3, 川浦 香奈子 1 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 鳥取大, 3. IPK)	304 アジアイネとアフリカイネを用いた内在性 RTBV 様 (ERTBVL) 配列由来 siRNA の発現解析 ☆齋藤 希 1, Jaymee Encabo 2, 宇津 康太郎 1, 小出 陽平 1, Il-Ryong Choi 2, 貴島 祐治 1 (1. 北大・院農, 2. 国際稲研究所)
10:00	105 ◆座長 門田 有希 (岡山大・院環境生命科学) 次世代シーケンサーを利用した新規マーカー技術 GRAS-Di の開発 ○榎 宏征 (トヨタ自動車 (株) バイオ・緑化研究所)	205 ◆座長 吉田 健太郎 (神戸大・院農学) コムギ近縁野生種 <i>Aegilops mutica</i> 細胞質が日本パンコムギ品種の花成関連遺伝子発現に及ぼす影響 ☆松村 実奈, 村井 耕二 (福井県大・生物資源)	305 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子 <i>Crr1b</i> の詳細マッピング ☆高橋 美紗子 1, 松元 哲 2, 柿崎 智博 2, 湯澤 彰太 1, 高畑 義人 1, 畠山 勝徳 1 (1. 岩手大・農, 2. 農研機構・野菜花き研究部門)
10:15	106 BSA-WGS 法を用いたイネ脱粒性に関連する突然変異の同定 ☆李 鋒 1, 沼寿隆 2, 原 奈穂 3, 丹羽 紗也佳 1, 千徳 直樹 3, 石井 卓朗 1, 福田 善通 4, 西村 宜之 1, 加藤 浩 1 (1. 農研機構・次世代作物・放育場, 2. 農研機構・高度解析センター, 3. 農研機構・生物機能利用研究部門, 4. 国際農林水産業研究センター・熱研)	206 RNA-seq 法により見出されたオオムギ 2H 染色体の新規早生 QTL が出穂期関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ○西田 英隆, 横田 真吾, 田部 涼太, 加藤 鎌司 (岡山大院環境生命)	306 ◆座長 田口 文緒 (農研機構・次世代作物) 耐塩性野生種ヒナズキのナトリウム局在およびトランスクリプトーム ○内藤 健 1, 野田 祐作 1, 古川 純 2, 坂井 寛章 1, 友岡 憲彦 1 (1. 農研機構, 2. 筑波大・院生命環境)
10:30	107 日本型水稻コシヒカリとインド型水稻 IR64 間の正逆染色体断片置換系統群を用いて検出された嫌気条件下での発芽・伸長に關与する QTLs ☆久家 徳之, 飯島 健, 永田 和史, 福岡 修一, 山本 敏央 (農研機構・次世代作物開発研究センター)	207 圃場環境下における野生オオムギと栽培オオムギのメリステムの成長過程 ☆井藤 純 1, 最相大輔 2, 辻 寛之 1 (1. 横浜市立大・木原生研, 2. 岡山大学資源植物科学研究所)	307 高温ストレス下のパンコムギにおける種子貯蔵タンパク質の発現解析と小麦粉品質 田中 裕之 1, Yasir S. A. Gorafi 2, 藤田 基寛 1, 佐々木 悠 1, Izzat S. A. Tahir 3, ○辻本 壽 2 (1. 鳥取大・農, 2. 鳥取大・乾燥地研, 3. ARC, Sudan)
10:45	108 水稻の収量および倒伏抵抗性関連形質の量的形質遺伝子座解析—極多着粒・極強稈系統 LTAT-29 とタカナリの F ₂ 分離集団を用いて— ☆野村 知宏 1, 山本 敏央 2, 上田 忠正 2, 米丸 淳一 2, 阿部 陽 3, 高木 宏樹 4, 安達 俊輔 1, 平沢 正 1, 大川 泰一郎 1 (1. 東京農工大学大学院農学府, 2. 農研機構 次世代作物開発研究センター, 3. 若手生物工学研究センター, 4. 石川県立大学生物資源環境学部)	208 オオムギ遺伝資源における圃場出穂期の年次変動要因 ○石井 誠 1, 佐藤 和広 1, 持田 恵一 1,2,3, 高萩 航太郎 2,3, 井上 小楨 2 (1. 岡山大・資源植物科学研究所, 2. 理研・環境資源科学研究センター, 3. 横浜市大・木原生研)	308 野生イネ <i>Oryza rufipogon</i> と栽培イネ <i>Oryza sativa</i> の交雑系統群を利用した新規 Na ⁺ 輸送系遺伝子・変異の探索 ☆堀内 智貴 1, 石川 亮 3, 田野井 慶太郎 4,5, 小林 奈通子 4, 石井 尊生 3, 堀江 智明 2 (1. 信大・院応用生物, 2. 信大・繊維応用生物, 3. 神戸大・院農学, 4. 東大・院農学生命, 5. 科学技術振興機構・さきがけ)
11:00	109 ◆座長 矢部 志史理 (農研機構・次世代作物) MinION シーケンサーによるシロイヌナズナ T-DNA 挿入系統のゲノム解読 ○高橋 秀和, 上田 健治, 櫻井 健二, 渡辺 明夫, 赤木 宏守 (秋田県大生物資源)	209 ◆座長 西田 英隆 (岡山大・院環境生命) コムギの未授精子房による開花誘導 ○岡田 崇 (アデレード大学)	309 ◆座長 吉川 貴徳 (吉備国際大・地域創世農学部) 高温処理によるイネ種子の発芽抑制には胚でのタンパク質凝集体の蓄積が関与する ☆上野 尚也, 山田 哲也, 金勝 一樹 (農工大・院連農)
11:15	110 dd-RAD-Seq 法によるアブラナ科作物の多型解析 ○磯部 祥子, 白澤 健太, 平川 英樹 (かずさ DNA 研究所)	210 BvBTC1 による二年生テンサイの当年抽苔制御効果: 分離世代による検証 ○黒田 洋輔, 松平 洋明, 岡崎 和之, 上田 重文, 田口 和憲 (農研機構 北海道農業研究センター)	310 イネの酢酸誘導性乾燥ストレス耐性の分子機構 鈴木 悠也, ○土生 芳樹 (農研機構 生物機能利用研究部門 植物機能開発ユニット)
11:30	111 ダイコンにおけるゲノム網羅的 SNPs と遺伝的多様性 ○北柴 大泰 1, 白澤 健太 2, 小林 寛人 1, 西尾 剛 1 (1. 東北大学大学院農学研究科, 2. かずさ DNA 研究所)	211 種子成熟・発芽と同調したエビゲノムリプログラミング ○川勝 泰二 (農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門)	311 転写因子 bZIP28 または HSF2 を欠損したシロイヌナズナの熱ストレス応答シグナル ○鈴木 伸洋, 片岡 涼, 高橋 実里 (上智大学 理工学部)
11:45	112 高密度 SNP 遺伝地図に基づくダイコンの異なるリファレンス配列の統合 ○白澤 健太 1, 北柴 大泰 2 (1. かずさ DNA 研, 2. 東北大院農)	212 変動光環境に対する "鈍感性" は葉緑体補酵素 NADP の量的制御で決定される ☆橋田 慎之介 1, 宮城 敦子 2, 川合 真紀 2 (1. 電中研・環境研, 2. 埼玉大・理工)	312 節水型耐乾性を獲得したコムギは限られた水でも種子の品質を維持する ☆妻鹿 良亮 1, 安倍 史高 2, 菊地 淳 3, 金 俊植 3, 田中 啓介 4, 小林 久人 4, 坂田 洋一 5, 辻本 壽 1, 花田 耕介 6, 岡本 昌彦 1,7,8 (1. 鳥取大・乾地研, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 理研・環境資源科学研究センター, 4. 東京農大・生物資源ゲノム解析センター, 5. 東京農大・応用生物科学, 6. 九工大・若手研究者フロンティア研究アカデミー, 7. 宇都宮大・バイオサイエンス教育研究センター, 8. 科学技術振興機構・さきがけ)

10月7日(土) 午前 口頭発表プログラム					
第4会場 (G2大)		第5会場 (G29)		第6会場 (G22)	10月7日
◆座長 氷見 英子 (岡山大・資源植物科学研究所)		◆座長 石川 隆二 (弘前大・農学生命科学部)		◆座長 深井 英吾 (新潟大・院 自然科学研究科)	
401	野生イネに由来する Rf1 相同遺伝子の分子遺伝学的解析 ☆小方 郁弥, 鳥山 欽哉, 風間 智彦 (東北大・院農)	501	ダイズ有望系統における窒素吸収量の品種系統間差と収量性 ○小林 聡, 渡邊 祐志 (道総研十勝農業試験場)	601	なぜアブラナ属 S 遺伝子はシロイヌナズナで機能できないのか? ☆山本 雅也, 西尾 剛 (東北大学大学院農学研究科)
402	テンサイの低化学量比ミトコンドリア DNA 分子の同定と特徴づけ ☆田添 沙織 1, 村田 智己 2, 大久保 めぐみ 2, 久保 友彦 3, 北崎 一義 3 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 北海道大学農学部, 3. 北海道大学大学院農学研究院)	502	トマトにおける養液濃度の二次木部組織発達への影響 ☆岩田 悠希 1, 中川 梓 2, 矢野 加奈子 2, 今西 俊介 2, 高橋 宏和 1, 中国 幹生 1 (1. 名大院生命農学研究科, 2. 農研機構 野菜花き研究部門)	602	ダイコン F1 品種における S ハプロタイプ収集に基づく dot-blot-S ハプロタイプ同定法の開発 ☆長谷山 祐里恵 1, 北柴 大泰 1, 岡本 俊介 2, 坂本 浩司 2, 西尾 剛 1 (1. 東北大・院農学, 2. タキイ 種苗 (株))
403	ナスにおける正常型細胞質と雄性不稔細胞質のミトコンドリアゲノム解析 ☆辻村 真衣 1, 児玉 慧太 2, 齊藤 猛雄 3, 吉見 麻衣子 1, 寺地 徹 4, 山岸 博 4 (1. 京都産大植物ゲノム科学研究センター, 2. 京産大・院生命科学, 3. 農研機構野菜花き研究部門, 4. 京産大・総合生命科学)	503	イネにおける穂の形態形成に関与する遺伝子座 qPBN3 のファインマッピング ☆縣 歩美 1, 保浦 徳昇 3, 武田 泰実 1, 石原 亮太 1, 國島 健 1, 藤城 靖子 1, 太田 自由 1, 土井 美佑季 2, 土井 一行 1, 犬飼 義明 4, 横原 大悟 4, 北野 英己 3 (1. 名大院生命農学, 2. 名大農, 3. 名大生物機能開発利用研究センター, 4. 名大農国センター)	603	Brassica oleracea FLC2 領域を移入交雑で導入した Brassica rapa の特性解析 ☆シェイ ダニエル 1, 戸丸 祐貴 1, 6. 板橋 悦子 2, 宮崎 俊夫 3, 柿崎 智博 2, 清水 元樹 4, 藤本 龍 5, 深井 英吾 1, 岡崎 桂一 1 (1. 新潟大農, 2. 農研機構・野菜花き研究部門, 3. 日本農林社, 4. 岩手生工研, 5. 神戸大農, 6. タキイ 種苗)
404	黒ダイコンは DCGMS 細胞質の orf463 を持つ ○山岸 博, 寺地 徹 (京都産業大学 総合生命科学部)	504	グリーンアスパラガスの色合いの制御要因について ☆津釜 大侑 1, 菅野 明 2, 志村 華子 1, 藤野 介延 1 (1. 北大・院農, 2. 東北大・院生命科学)	604	ソバの花器特異的な exo- ボリガラクトソナーゼと異形花型との関わり ☆竹島 亮馬 1, 西尾 剛 2, 小松 節子 3, 倉内 伸幸 4, 松井 勝弘 1 (1. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 2. 東北大・院農学研究科, 3. 筑波大・院生命環境, 4. 日本大・生物資源科学)
405	◆座長 金澤 章 (北大・院農) 閉花性コムギの作出に向けた AP2 遺伝子変異系統群の育成 ○掛田 克行 1, Hlaing Moe Haine1, 石原 雅之 1, 大野 陽子 2, 小林 史典 2, 半田 裕一 2, 山崎 万有子 2, 杉本 和彦 2, 小松田 隆夫 2 (1. 三重大・院生物資源, 2. 農研機構・次世代作物開発セ)	505	糊粉層の肥厚化による脂質含量イネ系統の開発と評価 ☆阪田 光和, 井上 秀美, 佐野 有希子, 山形 悦透, Ohn Mar Khin, 望月 俊宏, 高橋 清美, 佐藤 匡央, 吉村 淳, 熊丸 敏博 (九大院農)	605	◆座長 横井 修司 (大阪府大・院生命環境) Brassica rapa の種内一側性不和性を支配する花粉・柱頭認識因子の決定 ☆高田 美信 1, 村瀬 浩司 2, 3. 下里 (浅野) 裕子 2, 佐藤 陽洋 1, 中西 ほのか 4, 諏訪部 圭太 5, Yong Pyo Lim6, 清水 健太郎 7, 8. 高山 誠司 2, 3. 鈴木 剛 4, 渡辺 正夫 1 (1. 東北大・院・生命, 2. 奈良先端大・バイオ, 3. 東大農学生命科学, 4. 大阪教育大・教育協働, 5. 三重大・院・生物資源, 6. 忠南大, 7. チュールリヒ大・進化生物学環境学, 8. 横浜市大・木原生研)
406	ソルガムの成葉色 P/tan 遺伝子産物は 3-デオキシアントシアニン合成経路の flavanone 4-reductase (FNR) 活性を持つ ○川東 広幸 1, 澤田 有司 2, 水野 浩志 1, 平井 優美 2, 春日 重光 3, 松本 隆 1, 4 (1. 農研機構 次世代作物センター, 2. 理研 CSRS, 3. 信州大農学部, 4. 東京農大)	506	◆座長 松村 英生 (信大・遺伝子) 玄米のタンパク質含有率 QTL のマッピングおよび QTL 保有 NIL の遺伝子発現解析 ○和田 卓也 1, 熊丸 敏博 2, 宮原 克典 1, 宮崎 真行 3 (1. 福岡県農林業総合試験場, 2. 九州大学, 3. 福岡県庁)	606	アフリカイネとアジアイネの雑種四倍体の作出 ☆増田 到 1, 金岡 義高 1, 國吉 大地 1, 小出 陽平 1, 高牟禮 逸朗 1, 2. 近江戸 伸子 3, 星野 洋一郎 2, 貴島 祐治 1 (1. 北海道大学大学院農学研究院応用生命科学部門育種工学分野植物育種研究室, 2. 北海道大学環境科学院生物圏科学専攻耕地園科学コース, 3. 神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
407	ゴマにおけるセサモリン含有形質制御遺伝子の同定 鑑塚 清吾 1, 村田 純 2, 小笠 栄一郎 3, 白石 慧 2, 永野 惇 4, 5. 若杉 達也 1, 堀川 学 2, ○山本 将之 1 (1. 富山大・院理工, 2. サントリー生科財, 3. SIC (株) 研究部, 4. 龍谷大・農, 5. JST CREST)	507	合成 6 倍体コムギにおける非相加的な形質の評価 ☆渡辺 るみ果, 荻原 保成, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)	607	イネ品種 LEBED に台中 65 号を連続戻し交雑することで得られた雄性不稔系統の遺伝学的解析 ☆村上 哲也, 風間 智彦, 鳥山 欽哉 (東北大・院農学)
408	◆座長 川東 広幸 (農研機構・次世代作物) ジベレリンが Brassica rapa の展葉速度と開花期および開花関連遺伝子の発現量に及ぼす影響 ☆北本 尚子 1, 西川 和裕 2, 塚崎 光 3, 由比 進 1, 畠山 勝徳 1, 高畑 義人 1 (1. 岩手大学農学部, 2. (株) サカタのタネ, 3. 東北農研)	508	イネにおけるリンの転流と貯蔵に関する品種間差異 ☆塩崎 麻由, 福田 大朗, 佐々木 和浩, 青木 直大, 吉田 薫 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	608	QTL mapping for anther length with the F ₂ population derived from the cross between a Japanese rice cultivar, "Koshihikari" and Oryza rufipogon Griff ☆ Mohammad Wasif Mujadidi1, Kenta Shirasawa2, Satoko Ogawa1, Nobuyoshi Watanabe1, Tsutomu Kuboyama1 (1. 茨城大農, 2. Kazusa DNA Res. Inst.)
409	ダイズのレトロトランスポゾン SORE-1 の日長依存的転写制御 ☆中嶋 健太, 阿部 純, 金澤 章 (北大・院農)	509	イネ幼植物体におけるリン欠性の品種間比較 ☆福田 大朗, 塩崎 麻由, 佐々木 和浩, 青木 直大, 吉田 薫 (東京大・院農学生命科学研究科)	609	◆座長 山本 雅也 (東北大・院農) タバコの異倍数性種間交雑 (Nicotiana suaveolens PI 555565 × N. tabacum) における子房落下現象の組織学的解析 ☆何 海, 横井 修司, 手塚 孝弘 (大阪府大・院生命環境)
410	Baby boom1 ならびに Wuschel2 に制御されるオオムギ遺伝子の単離 ○久野 裕, 宗森 広美, 西村 秀希, 佐藤 和広 (岡山大学 資源植物科学研究所)	510	◆座長 大迫 敦義 (京都府大・院生命環境科学) 極良食味水稲品種「つや姫」を遺伝背景にもつ突然変異集団の構築と澱粉代謝突然変異体の単離 ☆川上 珠恵 1, 後藤 元 2, 阿部 洋平 3, 本間 猛俊 3, 中場 勝 2, 星野 友紀 1 (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 山形農総研セ, 3. 山形農総研セ・水田農試)	610	イネにおける HWA1 と HWA2 および HWC1 と HWC2 による雑種弱勢の比較解析 ☆白柿 薫平 1, 佐原 敏基 2, 一谷 勝之 3, 久保山 勉 4, 松村 篤 1, 森川 利信 1, 手塚 孝弘 1 (1. 大阪府大院生命環境, 2. 大阪府大生命環境, 3. 鹿児島大農, 4. 茨城大農)
		511	ピーカン (Carya illinoensis) の RAD-Seq 解析 ☆石森 元幸 1, 高梨 秀樹 1, 深見 一磨 1, 鐘ヶ江 弘美 1, Cervantes Kim2, 水野 惇 3, Grauke LJ4, 堤 伸浩 1, Randall Jennifer2, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. ニューメキシコ州立大, 3. 龍谷大・農, 4. USDA-ARS Pecan Breed. Genet.)	611	高温条件が HWA1 と HWA2 を原因とするイネ雑種弱勢の表現型と遺伝子発現に及ぼす影響 ☆小幡 正彬 1, 白柿 薫平 1, 一谷 勝之 2, 久保山 勉 3, 松村 篤 1, 森川 利信 1, 横井 修司 1, 手塚 孝弘 1 (1. 大阪府大院生命環境, 2. 鹿児島大農, 3. 茨城大農)
		512	カンボジア中央部・北部の在来メロンにおけるウリ科作物遺伝資源探索 ○田中 克典 1, 嶋田 玄太郎 2, Yon Sophea3, Sakhan Sophany3, 石川 隆二 1, 友岡 憲彦 4, 加藤 鎌司 2 (1. 弘前大, 2. 岡山大・院環境生命, 3. カンボジア農業研, 4. 農研機構 遺伝資源セ)	612	Nicotiana tabacum との種間雑種において異なる致死性を示す N. occidentalis 6 系統の系統解析 ☆川口 謙二, 大矢 祐一郎, 森川 利信, 横井 修司, 手塚 孝弘 (大阪府大院生命環境)

10月8日(日) 午後 口頭発表プログラム						
10月8日	第1会場 (GC1 大)		第2会場 (GC2 大)		第3会場 (G1 大)	
	◆座長 高田 美信 (東北大・院生命)		◆座長 白澤 健太 (かずさ DNA 研究所)		◆座長 磯部 祥子 (かずさ DNA 研究所)	
13:15	113	登熟向上を目指した日本水稲品種群における粒重分布のゲノムワイド予測 ☆矢部 志央理 1,2, 吉田 ひろえ 3, 鐘ヶ江 弘美 4, 山崎 将紀 5, 岩田 洋佳 4, 江花 薫子 6, 林 武司 1, 中川 博視 3 (1. 農研機構 次世代作物開発研究センター, 2.JST さきがけ, 3. 農研機構 農業環境変動研究センター, 4. 東京大・院農学生命科学, 5. 神戸大・院農・附属食資源教育研究センター, 6. 農研機構 遺伝資源センター)	213	ダイズの長日下における莢形成を阻害する要因 ☆針谷 康平 1, 竹島 亮馬 2, 山田 哲也 1, 孔 凡江 3, 阿部 純 1 (1. 北大・院農, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 中国科学院)	313	リンゴ小球形潜在ウイルスベクターによる世代促進技術のリンドウ育種への応用 ○山岸 紀子 1, 鎌田 和樹 1, 日影 孝志 2, 吉川 信幸 1 (1. 岩手大農, 2. 八幡平市花き研究開発セ)
13:30	114	「アサガオの到花日数 QTL 候補遺伝子 <i>PnCO</i> の発現解析」 ☆勝山 弘章 1, 小野 道之 2, 久保山 勉 1 (1. 茨城大・農, 2. 筑波大・生命環境系 T-PIRC 遺伝子実験センター)	214	E1 様遺伝子の機能欠損遺伝子がダイズの長日条件下での開花に関与する ☆朱 江慧 1, 徐 美蘭 1, 竹島 亮馬 2, 針谷 康平 1, 山田 哲也 1, 阿部 純 1 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター)	314	画像解析を用いたダイコンの根形を特徴づける形質の選定とその評価方法の確立 ☆淡 裕美子 1, 淡 誠一郎 2, 吉田 康子 3 (1. 神戸大院・農, 2. 大阪学院大・情報, 3. 神戸大院・農・食資源セ)
13:45	115	ニガウリ雌性花着花率に関する QTL 解析の試み ☆三宅 真佑子 1, 鈴木 翔太 2, 福島 舞 2, 谷合 直樹 3, 宮城 徳道 3, 太郎 良和 彦 3, 浦崎 直也 3, 松村 英生 4 (1. 信州大院総合理工学, 2. 信州大院理工学, 3. 沖縄農研センター, 4. 信大遺伝子)	215	ダイズ相転換における <i>E2</i> 、 <i>E3</i> 遺伝子の影響 ☆小澤 傑 1,2, 加賀 秋人 3, 畠山 勝徳 1, 高畑 義人 1 (1. 岩手大・農, 2. 岩手県農業研究センター, 3. 農研機構 次世代作物開発研究センター)	315	多収 MAGIC 集団の変異ポートフォリオを用いた粒形デザインの可能性 ☆小川 大輔, 野々上 慈徳, 常松 浩史, 菅野 徳子, 矢野 昌裕, 山本 敏央, 米丸 淳一 (農研機構・作物開発セ)
14:00	116	出穂期遺伝子 <i>Hd16</i> 、 <i>Hd18</i> が福岡県における水稻の出穂期におよぼす影響 ○石橋 正文, 宮原 克典, 山口 修 (福岡県農林業総合試験場)	216	異質細胞質系統のクロロシス葉における分化不全 ☆須永 啓太 1, 藤田 祥明 1,2, 大西 孝幸 3,4, 房 相佑 1 (1. 宇大・農, 2. 農工大・院連農, 3. 宇大・地連センター, 4.JST・さきがけ)	316	アミロースオートアナライザーを用いた新たなもち硬化性選抜法の検討 ☆道満 剛平 1, 平山 裕治 1, 佐藤 毅 1,2 (1. 道総研 土川農試, 2. 道総研 道南農試)
14:15	117	イネ極晩生変異体 <i>t-65late</i> の原因遺伝子の探索と分子学的解析 ☆吉津 祐貴 1, 一谷 勝之 2, 畠山 勝徳 1, 高畑 義人 1, 横井 修司 3 (1. 岩手大・農, 2. 鹿児島大・農, 3. 大阪府立・生命環境科学)	217	イネのネクロシス突然変異体の遺伝分析とその生理的特徴 ☆ムバラカ サイディルマンチ, 山形 悦透, 吉村 淳, 安井 秀 (九州大学農学部 育種学教室)	317	Ion-beam irradiation frequently induces simultaneous alterations of multiple traits in soybean ☆ Natasial, Shun Mikuriya1, Megumi Kasai1, Kenta Nakashima1, Yoshihiro Hase2, Tetsuya Yamada1, Jun Abe1, Akira Kanazawa1 (1.Res. Fac. Agr., Hokkaido Univ., 2.Takasaki Adv. Radiat. Res. Inst., QuBS, QST)
14:30	◆座長 藤本 龍 (神戸大・院農学)		◆座長 風間 智彦 (東北大・院農)		◆座長 米丸 淳一 (農研機構・次世代作物)	
	118	大豆品種「ふくいびき」の収量性に関与するゲノム領域の探索 ☆平田 香里 1, 加藤 信 1, 山田 哲也 2, 小木曾 映里 2, 石本 政男 2, 菊池 彰夫 1 (1. 農研機構 東北農業研究センター, 2. 農研機構 次世代作物開発研究センター)	218	イネの葉葉鞘比を決定するメカニズムの解析 ☆志賀 敏秀, 鳥羽 太陽, 徳永 浩樹, 植本 悟史, 経塚 淳子 (東北大・院・生命科学)	318	QTL 解析に価値ある画像解析: ソルガム RIL 集団の葉形態を例に ☆坂本 莉沙 1,2, 藤本 優 1, 高梨 秀樹 1, 鐘ヶ江 弘美 1, 野下 浩司 1,3, 小林 正明 4, 矢野 健太郎 4, 七条 光年 1, 小童谷 利恵 5, 大西 紀和 5, 堤 伸浩 1, 坂本 亘 5, 岩田 洋佳 1 (1. 東大・院農学生命科学, 2. 日本学術振興会特別研究員 DC, 3.JST・PRESTO, 4. 明治大・農, 5. 岡山大・植物研)
14:45	119	六倍体サツマイモにおけるゲノムワイドな多型情報を利用したネコブセンチュウ抵抗性選抜マーカーの開発 ☆笹井 瑠美 1, 岸本 和樹 1, 白澤 健太 2, 田淵 宏朗 3, 岡田 吉弘 3, 藏本 晃栄 4, 小林 晃 3, 磯部 祥子 2, 田原 誠 1, 門田 有希 1 (1. 岡山大・院環境生命科学, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 九州農研, 4. 京都大・院農学)	219	イネの葉における撥水性の制御機構と多様性の解析 ☆平岩 飛鳥 1, 相賀 彩織 1, 佐藤 豊 2, 伊藤 純一 1 (1. 東大・院農学生命科学, 2. 遺伝研)	319	マルチスペクトルカメラを用いたフィールドフェノタイプ解析法の構築とダイズ品種間差の評価 ☆佐々木 剛志 1, 陳 泰伸 1, 戸田 悠介 1, 山岡 秀平 1, 大森 良弘 1, 山崎 裕司 2, 高橋 宏和 3, 高梨 秀樹 1, 津田 麻衣 4, 辻本 壽 2, 加賀 秋人 5, 中國 幹生 3, 藤原 徹 1, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大学大学院農学生命科学研究科, 2. 鳥取大・乾燥地研, 3. 名大・院生命科学, 4. 筑波大・院生命環境科学, 5. 農研機構・次世代作物開発研究センター)
15:00	120	DNA マーカーを活用したいもち病真性抵抗性遺伝子型の推定 ○野々上 慈徳, 佐藤 宏之, 石井 卓朗 (農研機構・作物開発セ)	220	イネの花器官サイズ変異体 <i>miniature floral organs</i> の原因遺伝子の同定 ○吉田 均 1, Fabien Lombardo1, 秋山 高 1, 佐藤 豊 2 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 国立遺伝学研究所)	320	UAV リモートセンシングを用いたダイズの成長関連形質の測定と解析 ☆戸田 悠介 1, 加賀 秋人 2, 服部 智宏 1, 山岡 秀平 1, 岡本 昌憲 3, 辻本 壽 4, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 宇都宮大・バイオサイエンス教育研究センター, 4. 鳥取大・乾燥地研究センター)
15:15	121	阿波赤米に由来する低温土中出芽性遺伝子は障害型耐冷性を向上させる ☆山口 琢也 1, 川原 善浩 2, 仲條 真介 3, 遠藤 貴司 4, 石森 裕貴 4, 伊山 幸秀 1, 莊司 和明 1 (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 農研機構, 3. 岩手県農業研究センター, 4. 宮城県古川農業試験場)	221	embryoless 変異体を用いたイネの胚・胚乳サイズ比率制御機構の解析 ☆金川 真実 1, 松本 和也 2, 石川 亮 2, 伊藤 純一 1, 松原 健一郎 1 (1. 東大院農学生命科学, 2. 神戸大院農学)	321	遺伝子型 (G) × 環境要因 (E) の相互作用を解析するための表現型環境値 (PE 値) の提案 ○七塔 高也, 磯部 祥子 (公益財団法人かずさ DNA 研究所)
15:30	122	四倍体ニラにおける複相大孢子形成連鎖マーカーの作出 ☆榊 睦子 1, 田口 久美子 1, 中澤 佳子 1, 田崎 公久 1, 平川 英樹 2, 磯部 祥子 2, 飯村 一成 1, 天谷 正行 1, 松本 紀子 1, 大島 一則 1, 〇生井 潔 1 (1. 栃木県農業試験場, 2. かずさ DNA 研究所)	222	シロツメクサの KNOX1 様遺伝子の機能解析 ☆上野 美和, 馬久地 杜行, 大橋 はなみ, 斎藤 靖史 (岩手大学農学部付属施設寒冷バイオフィロンティア研究センター)	322	最適計画法に基づくゲノミック予測のための多環境試験計画 ☆田中 凌慧 1, 鐘ヶ江 弘美 1, 山崎 将紀 2, 江花 薫子 3, 矢部 志央理 4, 中川 博視 5, 岩田 洋佳 1 (1. 東大院農学生命科学, 2. 神戸大院農研附属食資源教育研究センター, 3. 農研機構 遺伝資源センター, 4. 農研機構 次世代作物開発研究センター, 5. 農研機構 農業環境変動研究センター)

10月8日(日) 午後 口頭発表プログラム			
第4会場 (G2大)		第5会場 (G29)	第6会場 (G22)
◆座長 阿部 清美 (農研機構・生物機能利用)		◆座長 笹沼 恒男 (山形大・農)	10月8日
413	トランスクリプトームとイオノームによるイネ低硝酸吸収突然変異体の特徴解析 ☆寺本 翔太 1, 大森 良弘 1, 長谷川 博 2, 藤原 徹 1 (1. 東大院・農生科, 2. 滋賀県大・院環境)	513 エゾスナゴケ種内の遺伝的多様性 ○関田 凌也 (長岡技術科学大学)	13:15
414	Tamyb10 遺伝子の導入がコムギ種子休眠に与える影響について ☆水見 英子 1, 栗原 志保 2, 安倍 史高 3, 前川 雅彦 1 (1. 岡山大学資源植物科学研究所, 2. 農研機構・北海道農業研究センター, 3. 農研機構・次世代作物開発研究センター)	514 植物の遺伝的多様性を DNA レベルで体感する教育プログラム 'ガーデン PCR' の開発 浅野 優人, 宮崎 哲, 菊地 理絵, ○朝倉 史明 (神奈川大学工学部)	13:30
415	トマト ADP-glucose pyrophosphorylase 発現抑制が果実の細胞壁多糖構成に及ぼす影響 ○松倉 千昭 1, 鈴木 春香 2, 宮地 桃子 2, Yves Gibon 3, Christophe Rothan 3, 野中 聡子 1, 福田 直也 1, 岩井 宏暁 1, 江面 浩 1 (1. 筑波大・生命環境系, 2. 筑波大・院生命環境科学, 3. フランス国立農学研究所ボルドー)	515 エノコログサと海岸型変種ハマエノコロ集団間の形態的および生態的形質の変異 ○山本 秋生, 大迫 敬義 (京都府大・院生命環境科学)	13:45
416	イネの SazaC 処理による DNA トランスポゾン、Dart の活性化 ○西村 秀希 1, 水見 英子 1, 梅根 一夫 2, 前川 雅彦 1 (1. 岡山大学 資源植物科学研究所 ゲノム制御グループ, 2. 基生研)	516 有用海滨植物ハマボウフウの遺伝的変異ならびに交配様式の解析 田村 康博, ○大迫 敬義 (京都府大・院生命環境科学)	14:00
417	コチョウランでの花色による花弁 pH の違いと P-type H ⁺ ATPase の遺伝解析 ○伊藤 真理, 高原 美規 (長岡技術科学大学)	517 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究 XLI(41), スオウチク (キンメイ型) とそのギンメイ型変異体との正逆交配結果について ○村松 幹夫	14:15
◆座長 辻 寛之 (横浜市立大・木原生研)		◆座長 山本 敏矢 (農研機構・次世代作物)	14:30
418	Emerald Gateway TALEN system で利用可能な 薬剤誘導型 2 遺伝子発現ベクターの開発とその評価 ☆小野寺 瞳 1, 堀江 峻晃 1, 紀平 望帆 1, 青木 裕美 1, 2, 草野 博彰 1, 3, 島田 浩章 1 (1. 東京理科大学・院生物工, 2. 現理研・環境資源科学研究センター, 3. 現京大・生存圏研究所)	518 水稻新品種「いちほまれ」の育成 ○小林 麻子, 富田 桂, 町田 芳恵, 中岡 史裕, 両角 悠作, 林 猛, 田野井 真, 渡辺 和夫, 酒井 究, 清水 豊弘 (福井県農業試験場)	14:45
419	CRISPR/Cas9 を用いた高オレイン酸イネの作出 ○阿部 清美 1, 荒木 悦子 2, 鈴木 保宏 3, 土岐 精一 1, 4, 雄賀 啓明 1 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 農研機構・生物系特定産業技術研究支援センター, 4. 横浜市大・木原生研)	519 出穂期遺伝子 Hd1, Hd16, Hd18 をコシヒカリ型で保有する晩生系統「東北 229 号」の育成 ☆石森 裕貴 1, 佐伯 研一 2, 遠藤 貴司 1, 佐藤 浩子 1, 中込 佑介 1, 溝淵 律子 3, 田口 文緒 3, 福岡 修一 3, 安藤 露 3, 山内 歌子 3 (1. 宮城県古川農業試験場, 2. 宮城県庁, 3. (国研) 農研機構次世代作物開発研究センター)	15:00
420	バンコムギにおける CRISPR/Cas9 システムを用いたゲノム編集用ターゲット配列の評価系の確立 神谷 容子 1, 安倍 史高 2, 久野 裕 3, 佐藤 和広 3, 三上 雅史 4, 5, 遠藤 真咲 5, ○川浦 香奈子 1 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 農研機構・作物開発センター, 3. 岡山大学・植物研, 4. 横浜市大院・生命ナノ, 5. 農研機構・生物機能利用部門)	520 O. rufipogon と O. meridionalis が同所的に生息するオーストラリア野生イネ集団における自然交雑の検証 ☆菅原 魁人 1, 一谷 勝之 2, 石川 隆二 1 (1. 弘前大学農学生命科学部, 2. 鹿児島大学農学部)	15:15
421	内在性 RNases 依存的な RNA プロセッシングを利用した CRISPR/Cas9 による標的変異 ☆三上 雅史 1, 2, 遠藤 真咲 2, 土岐 精一 1, 2, 3 (1. 横浜市大院・生命ナノ, 2. 農研機構・生物機能利用研究部門, 3. 横浜市大・木原生研)	521 次世代シーケンス情報によりベトナム野生イネから AS996 に導入した領域の推定 ☆ディン ティ ラム 1, 2, Chi Buu Bui 2, 石川 隆二 1 (1. 弘前大学農学生命科学部, 2. 南ベトナム農業研究センター)	15:30
422	CRISPR/Cas9 を用いたダイズにおけるゲノム編集プラットフォームの構築 ☆金刺 佑平 1, 廣瀬 亜矢 1, 高橋 一平 1, 三上 雅史 2, 遠藤 真咲 3, 廣瀬 咲子 3, 土岐 精一 3, 加賀 秋人 4, 内藤 健 5, 石本 政男 4, 阿部 純 1, 山田 哲也 1 (1. 北大院農, 2. 横浜市大院・生命ナノ, 3. 農研機構・生物機能利用部門, 4. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 5. 農研機構・遺伝資源センター)	522 バレイショにおけるジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性遺伝資源候補の抵抗性及び栽培特性の評価 ○浅野 賢治 1, 奈良部 孝 1, 相場 聡 1, 守屋 明博 2, 津山 陸生 3, 五十嵐 俊哉 3, 下坂 悦生 1, 赤井 浩太郎 1, 田宮 誠司 1 (1. 農研機構・北海道農研, 2. ホクレン農業総合研究所, 3. カルビーボート株式会社)	

口頭発表 講演番号・座長一覧

会場 日程	第1会場 GC1大	第2会場 GC2大	第3会場 G1大	第4会場 G2大	第5会場 G29	第6会場 G22
10月7日 午前	101-104 李 鋒 9:00-10:00	201-204 川勝 泰二 9:00-10:00	301-305 前田 哲 9:00-10:15	401-404 氷見 英子 9:00-10:00	501-505 石川 隆二 9:00-10:15	601-604 深井 英吾 9:00-10:00
	105-108 門田 有希 10:00-11:00	205-208 吉田 健太郎 10:00-11:00	306-308 田口 文緒 10:15-11:00	405-407 金澤 章 10:00-10:45	506-509 松村 英生 10:15-11:15	605-608 横井 修司 10:00-11:00
	109-112 矢部 志央理 11:00-12:00	209-212 西田 英隆 11:00-12:00	309-312 吉川 貴徳 11:00-12:00	408-410 川東 広幸 10:45-11:30	510-512 大迫 敬義 11:15-12:00	609-612 山本 雅也 11:00-12:00

10月8日 午前	ポスター発表 9:30-11:30				
10月8日 午後	113-117 高田 美信 13:15-14:30	213-217 白澤 健太 13:15-14:30	313-317 磯部 祥子 13:15-14:30	413-417 阿部 清美 13:15-14:30	513-517 笹沼 恒男 13:15-14:30
	118-122 藤本 龍 14:30-15:45	218-222 風間 智彦 14:30-15:45	318-322 米丸 淳一 14:30-15:45	418-422 辻 寛之 14:30-15:45	518-522 山本 敏央 14:30-15:45

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいようお願いいたします。

第59回シンポジウムプログラム

1 日目 (10月7日) 午後 13:15~17:30
第1会場, 学生センターC棟 GC1大 教室

	途上国を救う日本の育種学研究～その課題と展望～ Japan's breeding research to save developing countries – its task and prospective 主任：辻本 壽 (鳥取大学乾燥地研究センター) Organizer: Hisashi Tsujimoto (Arid Land Research Center, Tottori University)
13:15	1 この実験材料がアフリカのコムギ生産に貢献できるの？～その不安と喜び～ Can this experimental material contribute to African wheat production? - Anxiety and pleasure 辻本 壽 (鳥取大学乾燥地研究センター) Hisashi Tsujimoto (Arid Land Research Center, Tottori University)
13:50	2 国際農業研究所を知っていますか？その活動と日本の貢献 Activities of International Agricultural Research Centers and contributions from Japan 岸井 正浩 (国際トウモロコシ・コムギ改良センター (CIMMYT)) Masahiro Kishii (International Maize and Wheat Improvement Center (CIMMYT))
14:25	3 先進のゲノミクスとフェノミクスは発展途上国の育種を変えるか？ ～ラテンアメリカ向けの省資源型イネ品種開発をめざして～ Do genomics and phenomics change the breeding in developing countries? ~For development of new varieties adapted to Latin American low-input rice production~ 宇賀 優作 1, 小川 諭志 2, Natalia Espinosa 3, Nelson Amezcuita 3, 木富 悠花 1, 下嶋 浩平 2, 内藤 裕貴 2, Milton Valencia 4, Michael Selvaraj 4, 大政 謙次 2, 石谷 学 4 (1 農業・食品産業技術総合研究機構, 2 東京大学大学院農学生命科学研究科, 3 FEDEARROZ, 4 CIAT) Yusaku Uga 1, Satoshi Ogawa 2, Natalia Espinosa 3, Nelson Amezcuita 3, Yuka Kitomi 1, Kohei Shimojima 2, Hiroki Naito 2, Milton Valencia 4, Michael Selvaraj 4, Kenji Omasa 2, Manabu Ishitani 4 (1 NARO Institute of Crop Science, 2 U. Tokyo, 3 FEDEARROZ, 4 CIAT)
15:00	休憩 Break
15:15	4 途上国のイネ育種をゲノム育種技術で迅速化できるか？ Can accelerate rice breeding in developing countries using genomic breeding technology? 吉村 淳 (九州大学大学院農学研究院) Atsushi Yoshimura (Faculty of Agriculture, Kyushu University)
15:50	5 一般企業から見た日本の育種技術の可能性と課題～国際競争の最前線に立って見えた事 Potential and challenge of private breeding company - what happens at battlefield of international seed sales competition - 田中 和幸 (タキイ種苗株式会社 研究農場) Kazuyuki Tanaka (Takii & Co. LTD)
16:25	6 フィールド研究のわくわく～アフリカの作物生産改善を目指して～ Excitement and headaches in field studies ~ for the crop production in Africa 辻本 泰弘 (国際農林水産業研究センター, JICA/JST SATREPS) Yasuhiro Tsujimoto (JIRCAS, JICA/JST SATREPS)
17:00	7 総合討論 General discussion
17:30	

ワークショッププログラム

1 日目（10月7日）午後

	第2会場 学生センターC棟 G2大 教室	第3会場 学生センターA棟 G1大 教室	第5会場 学生センターA棟 G29 教室	第6会場 学生センターA棟 G22 教室
	W01 ムギ類に共通する有用遺伝子の構造と機能 International Workshop – Barley and wheat orthologous genes, their structure, function and application Organizers: Takao Komatsuda (Institute of Crop Science, NARO), Kazuhiro Sato (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University) Cosponsor: National Agriculture and Food Research Organization (NARO), Japan	W02 遺伝資源新時代をチャンスに変えて（育種加速化のためのナビゲーション） Making full use of genetic resources in the new era of access to them 企画者：山本 昭夫（農研機構 遺伝資源センター）	W05 ダイズにおける育種の新しい流れ Technical Showcase for the Forthcoming Soybean Breeding. 企画者：小木曾 映里・石本 政男（農研機構 次世代作物開発研究センター）	W04 育種学と農学のこれからを考える34 一形態をキーワードに育種を再考するー Prospects for Breeding and Agriculture 34 - Reconsider breeding from the aspect of morphology - 企画者：別所-上原 奏子（名古屋大）・吉津 祐貴（岩手大）・矢部 志央理（農研機構作物開発センター）・坂本 莉沙（東大）・斉藤 希（北大）
13:15	「Wild emmer genome architecture and diversity elucidate wheat evolution and domestication」 <u>Assaf Distelfeld</u> (The Institute for Cereal Crops Improvement, Tel Aviv University)	「農業分野における遺伝資源の利用促進に向けて」 高田 文子（農林水産省大臣官房政策課環境政策室）	「データ解析やシミュレーションを育種に繋げたい」 矢部 志央理（農研機構 次世代作物開発研究センター）	「植物が水辺で生きる」 永井 啓祐（名古屋大学生物機能開発利用研究センター）
13:45	「Structure and function of a major seed dormancy gene in barley」 Kazuhiro Sato ¹ , Takao Komatsuda ² (1Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, 2Institute of Crop Science, NARO)	「名古屋議定書の国内措置（ABS指針）について」 松本 真歩（環境省）	「機械学習を用いたダイズ育種法の改良（深層学習を中心に）」 山田 哲也（農研機構・次世代作物開発研究センター）	
14:05	「Impact of nucleotide diversity among homoeologs in wheat breeding」 <u>Tsuyoshi Tanaka</u> (Institute of Crop Science, NARO)			
14:15		「変わるか、食料・農業植物遺伝資源条約？ー新たなルール作り交渉の動向ー」 山本 昭夫（農研機構 遺伝資源センター）		「イネの“節”の構造と機能」 山地 直樹（岡山大学資源植物科学研究所）
14:25	Break		「ダイズ育種におけるヒストリカルデータ」 小野木 章雄 ^{1,2} （1 JSTさきがけ, 2 東京大学大学院農学生命科学）	
14:40	「Genetic basis of grain number in Triticeae」 Shun Sakuma ^{1, 2} , Thorsten Schnurbusch ¹ , Takao Komatsuda ³ (1Leibniz-Institut für Pflanzengenetik und Kulturpflanzenforschung (IPK), 2Faculty of Agriculture, Tottori University, 3Institute of Crop Science, NARO)	総合討論		
15:00			「シミュレーションによる形質予測に基づいた交配計画の試行」 関根 大輔, 加賀 秋人（農研機構・次世代作物開発研究センター）	
15:10	「Prediction of flowering time and GWAS of yield components of spring wheat in Kazakhstan (Europe 20 Project)」 <u>Yerlan Turuspekov</u> (Institute of Plant Biology and Biotechnology)			
15:15				

ワークショッププログラム

1 日目（10月7日）午後

	第2会場 学生センターC棟 G2大 教室	第3会場 学生センターA棟 G1大 教室	第5会場 学生センターA棟 G29 教室
	W01 ムギ類に共通する有用遺伝子の構造と機能 International Workshop – Barley and wheat orthologous genes, their structure, function and application Organizers: Takao Komatsuda (Institute of Crop Science, NARO), Kazuhiro Sato (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University) Cosponsor: National Agriculture and Food Research Organization (NARO), Japan	W03 イメージセンシングで植物を測ろう -導入から解析まで- Tutorial: image sensing techniques for field phenotyping 企画者：渡辺 翔（東大院・農）	W05 ダイズにおける育種の新しい流れ Technical Showcase for the Forthcoming Soybean Breeding. 企画者：小木曾 映里・石本 政男（農研機構 次世代作物開発研究センター）
15:30	「Precision mutagenesis of miRNA172 target sequence involved in cleistogamy in rice」 Namie Ohtsuki ¹ , Takao Komatsuda ² , Hitoshi Yoshida ¹ , Ayako Nishizawa-Yokoi ¹ , Keishi Osakabe ³ , Hiroaki Saika ¹ , Seichi Toki ¹ , 4 (1 Institute of Agrobiological Sciences, NARO, 2 Institute of Crop Science, NARO, 3 Faculty of Bioscience and Bioindustry, Tokushima University, 3 Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University)	「ドローンによるフィールドセンシングで植物の成長を追う」 渡辺 翔, 郭 威, 岩田 洋佳（東大院・農）	「ダイズゲノム編集プラットフォームの構築とその利用」 山田 哲也（北海道大学大学院農学研究院）
15:35			
15:50	Break		
16:05	「Increasing recombination in the pericentromeric regions of large barley chromosomes」 Robbie Waugh (The James Hutton Institute and University of Dundee)		
16:10			統合討論
16:30		「ドローンと画像解析パイプラインの構築によるアフォーダブルフェノタイピングの実現」 郭 威 ¹ , 伊藤 淳士 ² , 臼井 真由美 ¹ , 野下 浩司 ¹ , 岩田 佳洋 ¹ , 二宮 正士 ¹ (1 東京院・農生, 2 農研機構 北海道農研)	
16:35	「Isolation of a resistance gene against wheat yellow mosaic virus」 Takako Suzuki (Hokkaido Research Organization)		
16:55	「Pre-harvest sprouting tolerance in barley and wheat」 Shingo Nakamura (Institute of Crop Science, NARO)		
17:15	Conclusion		
17:30			

ポスター発表プログラム（10月8日）
奇数番号 9:30-10:30 偶数番号 10:30-11:30（第一体育館）

01. 育種法・育種技術 (Breeding method・Breeding technology)

- P001 ゲノム編集と簡便高密度水耕栽培法を利用したコメ品質関連遺伝子多重改変の試み**
○黒田 昌治, 山口 知哉, 山川 博幹（農研機構・中央農研北陸）
- P002 遺伝子組換えイネを判別するための組織（葉鞘）特異的アントシアニン蓄積性形質マーカーの開発**
☆大嶋 雅夫 1, 谷口 洋二郎 1, 田中 淳一 2, 市川 裕章 1, 赤坂 舞子 2,3, 田部井 豊 1（1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 農研機構・東北農業研究センター）
- P003 深層学習を用いたダイズの生育特性評価**
○山田 哲也, 南條 洋平, 高橋 浩司, 高橋 幹, 滝 幸彦, 富永 陽子, 羽鹿 牧太（農研機構・次世代作物開発研究センター）
- P004 Unmanned Aerial Vehicle (UAV) を利用した簡易牧草個体評価法の開発**
○秋山 征夫 1, 久保田 明人 2, 眞田 康治 1, 藤森 雅博 2（1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・東北農業研究センター）
- P005 画像解析を用いたイチゴ果実形態の定量解析および GWAS 解析**
○永松 志朗 1, 坪根 正雄 1, 和田 卓也 1, 林 篤司 2, 七夕 高也 2, 磯部 祥子 2, 森 美幸 1, 平田 千春 1, 高田 衣子 1, 下村 克己 1（1. 福岡県農林業総合試験場, 2. かずさ DNA 研究所）

02. 品種育成・遺伝資源 (Breeding・Genetic Resource)

- P006 宮崎在来野菜「日向カボチャ」の品種改良における和洋種間雑種後代選抜による優良系統の育成**
○陳 蘭庄 1,2, 岩本 優衣 1, 後藤 健治 1（1. 南九州大学 大学院, 2. 南九州大学 環境園芸学部）
- P007 もち性二条大麦「くすもち二条」の育成**
☆杉田 知彦 1, 平 将人 1, 中村 和弘 1, 松中 仁 1, 河田 尚之 2, 塔野岡 卓司 3, 荒木 均 9, 八田 浩一 4, 藤田 雅也 5, 久保 堅司 6, 小田 俊介 5, 波多野 哲也 1, 関 晶子 7, 西尾 善太 8（1. 農研機構・九沖農研, 2. 京都学園大学, 3. 農研機構・本部, 4. 農研機構・北農研, 5. 農研機構・作物研, 6. 農研機構・東北農研, 7. 農研機構・中央農研, 8. 東京農業大学, 9. 農研機構・フェロー）
- P008 東北地域における春播き栽培に適したソバ品種「夏吉」の育成**
○川崎 光代 1, 大潟 直樹 2, 本田 裕 3, 加藤 晶子 2（1. 農研機構東北農業研究センター, 2. 農研機構次世代作物開発研究センター, 3. 農研機構本部）
- P009 コムギ萎縮病に強い小麦新品種「タマイズミ R」の育成**
○藤田 雅也, 乙部 千雅子, 高山 敏之, 小島 久代, 蝶野 真喜子, 藤田 由美子（農研機構 次世代作物開発研究センター）
- P010 難裂莢性大豆品種の育成と難裂莢性による収穫損失の低減効果～サチユタカ A1 号、フクユタカ A1 号、えんれいのそら、関東 122 号～**
○高橋 浩司 1, 山田 哲也 1, 南條 洋平 1, 高橋 幹 1, 湯本 節三 1, 菱沼 亜衣 1, 平田 香里 1, 山田 直弘 2, 大木 信彦 1, 船附 秀行 1, 羽鹿 牧太 1（1. 農研機構, 2. 長野県野菜花き試験場）
- P011 直播栽培適性が高い焼酎用サツマイモ新品種「スズコガネ」の育成**
○境 哲文 1, 小林 晃 1, 片山 健二 2, 藤田 敏郎 1, 吉永 優 3, 高畑 康浩 1, 甲斐 由美 1, 藤田 剛嗣 4, 岩井 謙一 4（1. 農研機構・九沖農研, 2. 農研機構・作物開発セ, 3. 農研機構・北農研, 4. 霧島酒造株式会社）
- P012 ベトナム南部から収集された野生ツバキ属遺伝資源について**
○グエン ティリユエ 1, ルーン ヴァンユン 2, 福山 敬 3, 片山 寛則 4, 植松 千代美 1（1. 大阪市大・院理, 2. デラット大・生物学部, 3. 大阪市大・理, 4. 神戸大・院農）
- P013 中国青海省チベット高原で採集した野生コムギ連遺伝資源の遺伝学的特徴付け**
○笹沼 恒男 1, 齋藤 美帆 1, 田中 裕之 2, 佐藤 和広 3, 朱 明婧 4, 龍 春林 4（1. 山形大・農, 2. 鳥取大・農, 3. 岡山大・植物研, 4. 中国科学院）
- P014 カンボジア西部における遺伝資源の探索**
○奥泉 久人 1, 野中 絵梨 1, ライヘン シエン 2, チュアン オーン 2, ソパニー サカン 2, マカラ オーク 2（1. 農研機構 遺伝資源センター, 2. カンボジア農業開発研究所）
- P015 日本型イネ台中 65 号を遺伝的背景とする新たな AA ゲノム種イントログレッションラインの収集と公開**
○山形 悦透, 安井 秀, 吉村 淳（九大院農）
- P016 ウメ遺伝資源における収穫期および果実形質の多様性**
○沼口 孝司 1,2, 北村 祐人 1, 仲 慶晃 1, 大江 孝明 1, 土田 靖久 1, 石川 亮 2, 石井 尊生 2（1. 和歌山・果樹試・うめ研, 2. 神戸大・院・農学）
- P017 国内タバコ在来品種群の *NtMLO1/2* 遺伝子変異によるうどんこ病抵抗性**
○佐藤 正紀, 小松 知之, 宇田川 久史, 田島 智之, 新井 雅雄（日本たばこ産業（株）葉たばこ研究所）
- P018 マイクロサテライト領域に基づく *Brassica juncea* の系統解析と変種識別マーカーの開発**
田中 啓介 1, ○吉田 沙樹 2, 小野寺 将文 3, 西川 綾美 3, 野原 大知 3, 畠中 麻里安 3, 大竹 留未 1, 入江 憲治 2, 和久井 健司 3（1. 東京農業大学生物資源ゲノム解析センター, 2. 東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科, 3. 東京農業大学短期大学部生物生産技術学科）

- P019 リンドウ (*Gentiana scabra*) 地域集団の形態変異性と生態：エゾ系リンドウとの比較**
○堤 賢一, 日影 孝志 2, 渡辺 修二 3, 斎藤 靖史 1 (1. 岩手大 農, 2. 八幡平市花き研究開発センター, 3. 岩手県立博物館)
- P020 *Brassica juncea* のミトコンドリアゲノムの *Brassica rapa* との比較及び種内変異**
☆鳩野 紗希 1, 辻村 真衣 2, 山岸 博 3 (1. 京産大・院生命科学, 2. 京産大植物ゲノム科学研究センター, 3. 京産大・総合生命科学)
- P021 生薬「蒼朮 (ホソバオケラ *Atractylodes lancea* De Candolle)」の精油成分含量の安定化に対する個体選抜の効果**
☆津坂 宜宏 1,2, 櫻井 美希 1, 牧野 文昌 1, 松葉 知浩 1, 近藤 健児 1, 橋本 和則 1, 江面 浩 3 (1. (株) ツムラ・生薬研, 2. 筑波大・院生命環境, 3. 筑波大・生命環境系)
- P022 薬用植物マオウ (*Ephedra sinica* Stapf) の総アルカロイド高含量系統の探索**
☆樋山 肇 1,2, 松葉 知浩 1, 近藤 健児 1, 橋本 和則 1, 吉岡 洋輔 3, 大澤 良 3 (1. (株) ツムラ・生薬研, 2. 筑波大・院生命環境, 3. 筑波大・生命環境系)
- P023 イネ AA ゲノム種における芒形成遺伝子の保存と芒表現型の調査**
☆別所 - 上原 奏子 1, 増田 健吾 1, 山形 悦透 2, 吉村 淳 2, 芦荻 基行 1 (1. 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター, 2. 九州大学大学院 農学研究院 植物育種学分野)
- P024 生物多様性条約名古屋議定書が日本で効力を発しました**
○山本 昭夫 (農研機構 遺伝資源センター)
- P025 ゲノム選抜育種により水稻早生品種「みずかがみ」へ出穂期遺伝子及び病害抵抗性遺伝子を導入した準同質遺伝子系統群の形質評価**
○西村 卓真 1, 吉田 貴宏 1, 森 茂之 2, 椎木 咲帆 1, 日野 耕作 1, 山田 善彦 3, 正村 純彦 4, 福岡 修一 4, 山内 歌子 4, 田口 文緒 4, 溝淵 律子 4 (1. 滋賀県農業技術振興センター, 2. 滋賀県庁, 3. 滋賀県東近江農業農村事務所, 4. 農研機構・次世代作物開発研究センター)
- P026 *Brassica rapa* に低エルカ酸形質を付与する機能欠損型 *FAE1* 遺伝子座の同定**
○深井 英吾 1, モハマド マスドカリム 2, ナズーヌ ナハトヌ 3, ケビン フォーク 4, 岡崎 桂一 1 (1. 新潟大学大学院 自然科学研究科, 2. カナダ農務・農産食品省 サスカチュワン研究開発センター, 3. シェレバングラ農科大学 植物病理学分野, 4. カナダ農務・農産食品省 作物育種多様性部門)
- P027 未知遺伝子座の変異による辛味の欠失が示唆された甘味トウガラシ系統の遺伝学的解析 II**
☆鶴巻 啓一 1, 笹沼 恒男 1,2 (1. 岩手大・院連合農学, 2. 山形大・農)
- P028 Screening of NIAS world Rice Core collection for seeds with long longevity as potential breeding materials.**
☆Kalimullah Saighani 1, 近藤 大輝 1, 村田 和優 2, 柏木 めぐみ 1, 山田 哲也 1, 金勝 一樹 1 (1. 東京農工大学大学院農学府, 2. 富山県農林水産総合技術センター)

03. ゲノム解析・ゲノム育種 (Genomic analysis・Genome-based breeding)

- P029 タモギタケの孢子欠損性変異形質検出のための DNA マーカーの開発**
○米山 彰造 1, 白井 伸生 2, 東 智則 1, 佐藤 真由美 1, 松本 晃幸 2 (1. 道総研・林産試, 2. 鳥取大・院農学)
- P030 八重咲き識別 DNA マーカーによるリンドウ苗の大量選抜**
○西原 昌宏 1, 樋口 敦美 1, 渡辺 藍子 1, 岩井 摩莉 1, 菅野 裕子 1, 田崎 啓介 1, 高橋 亮 2, 高村 祐太郎 2, 日影 孝志 2, 内藤 善美 3, 小澤 傑 3, 阿部 弘 3, 小田 島 雅 3, 川村 浩美 3 (1. 岩手生工研セ, 2. 八幡平市花きセ, 3. 岩手農研セ)
- P031 *Brassica rapa* ssp. *rapa* cv. 77B における核遺伝子型雄性不稔性遺伝子座の同定**
小松 憲治 1, ○尾関 未帆 2, 山本 顕 1, 田中 啓介 3, 大竹 留未 3, 三井 裕樹 2, 和久井 健司 1 (1. 東京農業大学短期大学部 生物生産技術学科, 2. 東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科, 3. 東京農業大学生物資源ゲノム解析センター)
- P032 Identification and validation of a novel major QTL for 100-seeds weight in soybean**
☆劉 德泉 1,2, 藤田 泰成 1,2, 許 東河 1 (1. 国際農林水産業研究センター, 2. 筑波大学生命環境科学研究科)
- P033 全ゲノム配列と QTL 情報を統合した柔軟性の高いダイズ育種パネルの開発**
☆小木曾 映里 1, 田口 文緒 1, 平田 香里 2, 加賀 秋人 1, 羽鹿 牧太 1, 石本 政男 1 (1. 農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター, 2. 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター)
- P034 スギ雄性不稔候補遺伝子群のゲノム構造の解析とマーカーの開発**
☆田村 美帆 1, 郷田 乃真人 2, 山崎 菜々子 3, 渡辺 敦史 1 (1. 九州大学農学研究院, 2. 九州大学生物資源環境科学府, 3. 九州大学農学部)
- P035 タルホコムギ多検体間のゲノムワイド多型検出への BrAD-seq 法の適用**
☆西嶋 遼, 吉田 健太郎, 宅見 薫雄 (神戸大・院農学)
- P036 QTL analysis for yield traits in F₂ of a cross between *Oryza Longistaminata* introgression line pLIA-4and Basmati under low input conditions.**
○San Pyae Tun, Gichuhi Emily, Masahiko Maekawa (Inst. Plant Sci. Res., Okayama Univ.)
- P037 シイタケの発生季節型 QTL に連鎖する RAD-seq タグに基づく HRM(high-resolution melting curve) マーカーの開発と連鎖地図の再構築**
寺島 和寿 1, ○佐々木 明正 1, 石川 敢太 2, 永野 惇 3, 長谷部 公三郎 1 (1.(一財) 日本きのこセンター 菌蕈研究所, 2. 愛知県 森林・林業技術センター, 3. 龍谷大学農学部)

P038 バレイシヨにおける青枯病抵抗性 QTL 解析

☆波部 一平 1, 宮武 宏治 2, 布目 司 2, 山崎 将紀 3, 林 武司 4 (1. 長崎県農林技術開発センター, 2. 農研機構 野菜花き研究部門, 3. 神戸大院農付属食資源教育研究センター, 4. 農研機構 次世代作物開発研究センター)

P039 北海道のイネ系統「上育 462 号」を遺伝的背景とする「ゆきひかり」の染色体部分置換系統シリーズの作成と農業関連形質の評価

島貫 渉 1, 吉川 晶子 1, 木下 乃梨子 1, 高橋 奈那 2, 川島 拓也 2, 高野 翔 1, 西村 努 3,4, 平山 裕治 3, 高牟禮 逸朗 2, 佐藤 毅 5, ○加藤 清明 1 (1. 帯広畜産大, 2. 北大院農, 3. 道総研・上川農試, 4. 岩手連大大学院 (帯広畜大), 5. 道総研・道南農試)

P040 ダイズ品種「フクユタカ」の高い裂皮粒率に関わる QTL

○小松 邦彦, 猿田 正恭, 高田 吉丈, 山下 謙一郎 (農研機構・西日本農研)

P041 酒米品種「山田錦」の心白発現 QTL である *qWCY6* の高精度マッピングへ向けた表現形質調査方法の検討

☆岡田 聡史, 横山 若菜, 末廣 美紀, 山崎 将紀 (神戸大学大学院農学研究科附属食資源教育研究センター)

P042 講演取り消し

P043 醸造品種の農業形質改良に向けた日本の在来品種「早木曾 2 号」の染色体部分置換系統群の育成

○最相 大輔 1, 高萩 航太郎 2,3, 持田 恵一 1,2, 半田 裕一 4, 佐藤 和広 1 (1. 岡山大学資源植物科学研究所, 2. 理化学研究所環境資源科学研究センター, 3. 横浜市立大院・生命ナノ, 4. 農研機構・次世代作物開発研究センター)

P044 全ゲノム GWAS は集団構造によらず原因 SNP を見つけられるか：従来の方法との比較

☆濱崎 甲資 1, 鐘ヶ江 弘美 2, 山崎 将紀 3, 江花 薫子 4, 矢部 志央理 6, 中川 博視 5, 岩田 洋佳 2 (1. 東大・農, 2. 東大院・農, 3. 神戸大院農附属食資源教育研究センター, 4. 農研機構 遺伝資源センター, 5. 農研機構 農業環境変動研究センター, 6. 農研機構 次世代作物開発研究センター)

P045 トマト F1 品種間交雑に由来する RILs を育種母集団としたゲノミックセレクションの実践と効果検証

○大山 暁男 1, 山本 英司 2, 松永 啓 1, 宮武 宏治 1, 山口 博隆 1, 布目 司 1, 福岡 浩之 3, 林 武司 4 (1. 農研機構・野菜花き部門, 2. かずさ DNA 研, 3. 農研機構・野菜茶研 (現・タキイ種苗 (株)), 4. 農研機構・作物開発センター)

P046 MutMapPlus 法による米デンプン糊化性変異原因遺伝子の同定と多様な米飯物性を示すイネ育種素材の開発

☆山川 博幹 1, 高木 宏樹 2, 中田 克 1, 宮下 朋美 1, 黒田 昌治 1, 山口 武志 1, 梅本 貴之 3 (1. 農研機構 中央農業研究センター, 2. 石川県立大, 3. 農研機構 次世代作物開発研究センター)

P047 ババイヤ X 染色体における遺伝子発現調節の解明に向けた研究

☆宮田 伊吹 1, 上野 広樹 2, 太郎良 和彦 3, 浦崎 直也 3, 松村 英生 4 (1. 信州大学総合理工学, 2. 農研機構・野菜花き部, 3. 沖縄農研センター, 4. 信大遺伝子)

04. 遺伝子機能 (Gene function)

P048 ソナレシバのカリウムトランスポーターの構成的発現はシロイヌナズナでのカリウム取り込み・蓄積能力を高める

○多田 雄一 1, 遠藤 千里 1, 且原 真木 2, 堀江 智明 3, 来須 孝光 1 (1. 東京工科大学応用生物学部, 2. 岡山大学植物科学研究所, 3. 信州大学繊維学部)

P049 遺伝子組換えにより導入した *Tamby10-D1* 遺伝子は、小麦白粒品種の種皮色を赤くし、種子休眠性を高める

○栗原 志保 1, 安倍 史高 2 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター)

P050 講演取り消し

P051 パーティクルボンバートメント法によるダイズ不定胚におけるゲノム編集

☆安達 達平 1, 金刺 佑平 2, 廣瀬 亜矢 2, 菅野 奨太 2, 三上 雅史 3, 遠藤 真咲 4, 廣瀬 咲子 4, 土岐 精一 4, 石本 政男 5, 阿部 純 2, 山田 哲也 2 (1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 横浜市大院・生命ナノ, 4. 農研機構・生物機能利用部門, 5. 農研機構・次世代作物開発研究センター)

P052 インド型イネにおける CRISPR/Cas9 を用いた *OsCKX2(Gn1a)* ノックアウト系統の籾数、枝梗数に対する効果

○大武 美樹 1, 永田 真紀 1, 遠藤 真咲 1, 土岐 精一 1, 榊原 均 2, 小松 晃 1 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 理化学研究所・CSRS)

P053 トマト花粉への変異原処理による変異誘導

○布目 司 1, 白澤 健太 2, 宮武 宏治 1, 山口 博隆 1 (1. 農研機構野菜花き研究部門, 2. かずさ DNA 研究所)

P054 Relationships between *AP2* gene mutations and cleistogamous flowering in hexaploid wheat

☆ Hlaing Moe Haine1, Youko Oono2, Kazuhiko Sugimoto2, Takao Komatsuda2, Katsuyuki Kakeda1 (1. Graduate School of Bioresources, Mie University, 2. Institute of Crop Science, NARO)

P055 接ぎ木を利用したエビゲノム編集ジャガイモ 野外栽培試験の開始へ

☆葛西 厚史 1, 原田 竹雄 1, 山崎 宗郎 2, 田部井 豊 2, 赤田 辰治 1 (1. 弘前大学農学生命科学部, 2. (独) 農研機構)

P056 イネミトコンドリアに存在するプラスミド様環状 DNA の分子遺伝学的解析

☆阿部 瑞希, 風間 智彦, 鳥山 欽哉 (東北大・院農)

P057 自律複製する葉緑体形質転換ベクターの複製起点に関する研究

☆児島 和志 1, 植村 香織 2, 寺地 徹 2 (1. 京産大・院生命科学, 2. 京産大・総合生命科学)

P058 植物の葉緑体ゲノムを分割する方法の開発

☆植村 香織 1, 児島 和志 2, 寺地 徹 1 (1. 京産大・総合生命科学, 2. 京産大・院生命科学)

P059 ナスの近縁野生種における雄性不稔細胞質の分布

☆児玉 慧太 1, 吉見 麻衣子 2, 辻村 真衣 2, 齊藤 猛雄 3, 山岸 博 4 (1. 京産大・院生命科学, 2. 京都産大植物ゲノム科学研究センター, 3. 農研機構野菜花き研究部門, 4. 京産大・総合生命科学)

05. オミクス・データベース (Omics・Database)

P060 Iso-Seq を利用したサツマイモにおける高精度な完全長 cDNA 配列の構築

小野 菜奈 1, 牛島 幸一郎 1, 田淵 宏明 2, 田原 誠 1, 〇門田 有希 1 (1. 岡山大・院環境生命科学, 2. 九冲農研)

P061 講演取り消し

P062 ダイズ遺伝子型および表現型データ管理システムの構築

☆鍾ヶ江 弘美 1, 戸田 悠介 1, 服部 智宏 1, 山岡 秀平 1, 大森 良弘 1, 岡本 昌憲 2, 辻本 壽 3, 加賀 秋人 4, 藤原 徹 1, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 宇都宮大・バイオサイエンス教育研究センター, 3. 鳥取大・乾燥地研究センター, 4. 農研機構・次世代作物開発研究センター)

P063 ニホンナシ 網羅的トランスクリプトーム配列決定と Web データベースの構築

☆中村 幸乃 1, 小林 正明 1, 西谷 千佳子 2, 山本 俊哉 2, 矢野 健太郎 1 (1. 明治大・農, 2. 農研機構果樹茶部門)

P064 Web データベース TOMATOMICs、PODC、CatchUP、PlantExpress のアップデート

☆工藤 徹 1, 小林 正明 1, 中村 幸乃 1, 齋藤 美沙 1, 菅野 真麻 1, 青木 考 2, 矢野 健太郎 1 (1. 明治大・農, 2. 大阪府大・生命環境科学)

P065 外観品質に基づく玄米の画像ライブラリの作成

☆塩川 貫太 1, 土井 一行 1, 西内 俊策 1,2 (1. 名古屋大学大学院生命農学研究科, 2. JST さきがけ)

P066 ダイズ遺伝資源の種子イオノーム：品種間差、着莢位置による影響、他の農業形質との関係

☆山岡 秀平 1, 加賀 秋人 2, 神谷 岳洋 1, 藤原 徹 1, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大学大学院 農学生命科学研究科, 2. 農研機構 次世代作物開発研究センター)

06. 抵抗性・耐性 (Resistance・Tolerance)

P067 野生コムギ近縁種 *Aegilops umbellulata* のうどんこ病菌感染葉におけるフィールドトランスクリプトーム解析

〇吉田 健太郎, 溝尾 直子, 宅見 薫雄 (神戸大・院農学)

P068 イネの広範な病害抵抗性遺伝子 *BSR2* を高発現したトレニアの灰色かび病抵抗性と花の形態

前田 哲 1,2, 佐々木 克友 3, 大坪 憲弘 4, 〇森 昌樹 1 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 筑波大・院生命環境科学, 3. 農研機構・野菜花き研究部門, 4. 京都府立大・院・生命環境)

P069 イネの広範な病害抵抗性遺伝子 *BSR1* を高発現したサトウキビの黒穂病抵抗性

☆前田 哲 1,2, 高橋 亘 3, 森 昌樹 1 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 筑波大・院生命環境科学, 3. 農研機構・畜産研究部門)

P070 *strigosa* エンバク (*Avena strigosa*) 「KH1a」が保持するサツマイモネコブセンチュウ抵抗性の遺伝様式とその育種的利用

〇上床 修弘, 上杉 謙太, 村田 岳, 荒川 明, 高井 智之, 桂 真昭 (農研機構 九州沖縄農業研究センター)

P071 水田転換畑における干ばつ耐性ダイズ系統の選抜

〇高田 吉丈, 山下 謙一郎, 小松 邦彦, 猿田 正恭 (農研機構 西日本農業研究センター)

P072 ABA 低感受性イネ突然変異系統の低温発芽および低温出芽性

〇佐藤 裕 1,2, 藤村 健太郎 2 (1. 農研機構北海道農研センター, 2. 北大・院農)

P073 寒天培地を用いたイネの難溶性無機リン酸利用能の評価法

☆工藤 真帆 1, 小梶 裕之 1, 平林 秀介 2, 清水 顕史 1 (1. 滋賀県立大学大学院環境科学研究科, 2. 農研機構・作物開発セ)

P074 インド型イネ品種「ハバタキ」における種子温湯消毒時の高温耐性に関する染色体領域の探索

☆柏木 めぐみ 1, 村田 和優 2, 山田 哲也 1, 金勝 一樹 1 (1. 東京農工大学大学院連合農学研究科, 2. 富山県農林水産総合研究センター)

P075 ヒエ属雑草とイネにおける ROL(酸素放出)バリア形成機能の比較

☆江尻 真斗, 塩野 克宏 (福井県立大学 生物資源学部)

P076 根系がカドミウム回避応答を示すシロイヌナズナ T-22 変異体の解析

〇渡辺 明夫, 佐々木 輝, 上田 健治, 櫻井 健二, 高橋 秀和, 赤木 宏守 (秋田県立大学生物資源科学部)

P077 Elucidating relative drought stress responsiveness in pearl millet [*Pennisetum glaucum* (L.) R.Br] inbred lines through RNA sequencing

☆ Ambika Dudhate 1,2, Harshraj Shinde 1,2, 柳 参奎 3, 高野 哲夫 1,2 (1. 東京大学アジア生物資源環境研究センター 環境ストレス耐性機構研究室, 2. 東大・院農学生命科学, 3. 中国東北林業大学)

P078 イネの側根による通気組織形成の制御機構の解明

☆清水 春衣 1, Fangping Gong1,2, 高橋 宏和 1, 志水 (佐藤) 佐江 3, 佐藤 豊 3, 中園 幹生 1 (1. 名大・院生命農学, 2. 河南農業大学, 3. 遺伝研)

P079 Zea nicaraguensis を用いた側根の酸素漏出バリア形成能の評価

☆安江 広樹 1, 渡邊 宏太郎 1, 中園 幹夫 1, 高橋 宏和 1, Timothy D. Colmer2, Ole Pedersen3, Anja Fløyttrup3, 大森 史恵 4, 間野 吉郎 4 (1. 名大院生命農, 2. 西オーストラリア大学理学部, 3. コペンハーゲン大学生物学科, 4. 農研機構・畜産研究部門)

P080 Zea nicaraguensis の酸素漏出バリア形成に関わる遺伝子座の同定

☆井出 健斗 1, 渡邊 宏太郎 1, 高橋 宏和 1, 高橋 秀和 2, 大森 史恵 3, 間野 吉郎 3, 中園 幹生 1 (1. 名大院・生命農学研究科, 2. 秋田県立大・生物資源科学部, 3. 農研機構・畜産研究部門)

P081 ソルガム RIL 集団を用いた塩・浸透圧ストレス耐性に関する QTL 解析

☆山内 卓樹 1, 高梨 秀樹 1, 藤本 優 1, 鐘ヶ江 弘美 1, 石森 元幸 1, 小林 正明 2, 矢野 健太郎 2, 小童谷 利恵 3, 大西 紀和 3, 岩田 洋佳 1, 坂本 亘 3, 堤 伸浩 1 (1. 東大・院農生, 2. 明治大・院農, 3. 岡山大・植物研)

P082 北海道のイネ栽培品種の温湯消毒処理による低温発芽・出芽の促進

○提箸 祥幸, 佐藤 裕 (農研機構 北海道農業研究センター)

P083 パンコムギの諸形質に及ぼす Triticum-Aegilops 属細胞質効果の多様性

○中村 千春 1, 竹中 祥太郎 1, 山本 涼平 1, 池田 達哉 2 (1. 龍谷大学農学部, 2. 農研機構西日本農業研究センター)

07. 収量・品質 (Yield・Quality)

P084 インド型多収性イネ「VT-101」の着粒数に関する QTL の組み合わせ効果

☆太田 自由 1, 保浦 徳昇 2, 縣 歩美 1, 當山 恒顕 1, Dang Xuan Tran3, Dang Khanh Tran4, Hung Linh Le4, 北野 英己 2 (1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発利用研究センター, 3. 広島大院国際協力研究科, 4. ハノイ農業遺伝学研究所分子生物学部門)

P085 二粒系コムギと Aegilops umbellulata の交雑に由来する合成 6 倍体の穀粒硬度の解析

☆岡田 萌子 1, 池田 達哉 2, 吉田 健太郎 1, 宅見 薫雄 1 (1. 神戸大・院農学, 2. 農研機構・西日本農研センター)

P086 野生稲 Oryza glumaepatula の高温登熟性に関わる遺伝領域のマッピング

○宮原 克典 1, 平林 秀介 2, 石橋 正文 1, 山口 修 1, 和田 卓也 1, 宮崎 真行 3 (1. 福岡県農林業総合試験場, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 福岡県農林水産部)

P087 良食味エダマメ系統「ダダチャマメ」の高シヨ糖蓄積能に関する遺伝子座解析に向けた試み

☆飯島 信繁 1, 栗野 莉奈 2, 上村 千穂 2, 滝口 可葉 2, 川上 珠恵 1, 星野 友紀 1,2 (1. 山形大院・農・生物資源, 2. 山形大・農・食料生命環境)

P088 エダマメ品種「秘伝」突然変異集団の作出と開花期突然変異体の単離

☆高橋 弘紀 1, 畑 昌和 1, 飯島 信繁 2, 川上 珠恵 2, 太田 千恵 3, 五十嵐 徹 3, 星野 友紀 1,2 (1. 山形大・農・食料生命環境, 2. 山形大院・農・生物資源, 3. 山形県置賜総合支庁)

P089 アルメニアコムギに由来する Wx-At1 タンパク質が増加した変異遺伝子のコムギへの導入

○山守 誠 (農研機構・次世代作物開発研究センター)

P090 裸麦で認められた赤色粒の色素成分

○阿部 大吾 1, 齋藤 武 1, 野方 洋一 1, 神山 紀子 2, 川口 章 1, 富岡 啓介 1, 石川 直幸 1, 高橋 飛鳥 1, 吉岡 藤治 1 (1. 農研機構・西日本農研, 2. 農研機構・作物開発セ)

P091 オービトラップ LC-MS を用いたダイコン種子中 4 メチルチオ -3- ブテニルグルコシの簡易検出

箕川 剛 1, 浜崎 孝治 1, 今井 雅志 1, 大野 友道 1, 横山 貴正 1, ○石田 正彦 2 (1. 三栄源エフ・エフ・アイ (株), 2. 農研機構・野菜花き研究部門)

P092 Growths and physiological responses of different rice genotypes as influenced by chemical fertilizers along with Bacillus pumilus TUAT1 biofertilizer

☆KHIN THUZAR WIN1, 大脇 良成 1, 岡崎 圭毅 1, 貴志 見城 2, 浅野 智孝 2, 吉川 恵門 3, 大川 泰一郎 3, 横山 正 3 (1. 中央農業研究センター、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構, 2. Asahi Industries Co., LTD, 3. Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology)

P093 Re-sequencing and SNP analysis of the parental lines of a commercial F1 hybrid cultivar of Chinese cabbage

シェア ダニエル 1, 清水 元樹 2, 板橋 悦子 3, 宮路 直実 4, 加治 誠 5, 岡崎 桂一 1, ○藤本 龍 4 (1. 新潟大・院自然科学, 2. 岩手生工研, 3. 農研機構 野菜花き研, 4. 神戸大・院農学, 5. 渡辺採種場)

P094 野生イネ内に見出された栽培化関連遺伝子 PROSTRATE GROWTH 1 座における複対立性

☆坂内 寛明, 伊藤 大樹, 三浦 秀穂, 大西 一光 (帯広畜産大学)

08. 発生・生理 (Development・Physiology)

P095 イネ花序構造に関わる転写因子 TAWAWA1 の下流遺伝子の探索

☆進藤 雅志 1, 徳永 浩樹 1, 鳥羽 大陽 1, 桧本 悟史 1, 田中 啓介 3, 太治 輝昭 2, 経塚 淳子 1 (1. 東北大・院 生命科学, 2. 東京農大・院 生命科学, 3. 東京農大 生物資源ゲノム解析センター)

P096 イネ萎縮小胚突然変異体の表現型解析と原因遺伝子の探索

☆佐藤 篤史, 岡崎 桂一, 深井 英吾 (新潟大学大学院自然科学研究科)

P097 ブラシノステロイドによって調節される種皮透過性の変化はプライミング後の種子寿命に影響を与える

佐野 直人 1, 金 俊植 1,2, 恩田 義彦 1, 野村 崇人 3, 持田 恵一 1,4,5, 岡本 昌憲 2,3, ○瀬尾 光範 1 (1. 理研・環境資源科学研究センター, 2. 鳥取大・乾燥地研究センター, 3. 宇都宮大・バイオサイエンス教育研究センター, 4. 横浜市大・木原生物学研究所, 5. 岡山大・資源植物科学研究所)

P098 RNA-seq によるコムギ種子休眠性低下突然変異系統 RSD32 の遺伝子発現解析

○力石 和英, 西村 秀希, 前川 雅彦 (岡山大学資源植物科学研究所)

P099 低温要求性遺伝子と日長反応性遺伝子がコムギの小穂数へ及ぼす影響

○松中 仁 1, 水田 圭祐 2, 荒木 英樹 2, 中村 和弘 1 (1. 農研機構 九州沖縄農研, 2. 山口大学大学院創成科学研究科)

P100 コムギにおける幼穂分化と節間伸長の分子フェノロジーの調査

☆安川 新平, 辻 寛之 (横浜市立大・木原生研)

P101 イネにおける植物ホルモンのイメージング実験系の評価

☆佐藤 萌子, 藤田 尚子, 辻 寛之 (横浜市大・木原生研)

P102 ヤーコン (*Smallanthus sonchifolius*) の系統間交雑における受精および種子形成過程に関する組織学的研究

○松田 靖, 守山 亮佑, 村田 達郎 (東海大学大学院・農学研究科)

09. 増殖・生殖 (Multiplication・Reproduction)

P103 染色体組換えにより生じたテンサイ新規 *Rf1* アレルの特徴づけ

☆荒河 匠, 大神 貴史, 内山 大輔, 佐野 千紘, 久保 友彦 (北大・院農)

P104 *Brassica oleracea* における *erucoides* 型 CMS の解析

☆藤田 祥明 1,2, 沈 受炫 1, 大西 孝幸 3,4, 房 相佑 1 (1. 宇大・農, 2. 農工大・院連農, 3. 宇大・地連センター, 4. JST・さきがけ)

P105 *Cymbidium floribundum* と *Cym. lowianum* の種間雑種では非還元性配偶子が稔性に関与している。

三瀬 楓馬 1, 大畑 慶真 2, 土井 一行 3, ○加藤 淳太郎 1 (1. 愛知教育大学 教育, 2. 北大院生命環境, 3. 名大院生命農学)

P106 二粒系コムギへの4倍性エギロプス花粉の交雑成功率に関する種間差異

○宅見 薫雄 1, 池田 達哉 2 (1. 神戸大学大学院農学研究科, 2. 農研機構西日本農研センター)

P107 クサホナミ/キタアケの F₁ 蒴培養

○岡本 吉弘, 我妻 尚広 (酪農学園大学)

P108 セイヨウナタネにおける葉片からの不定芽形成能のゲノムワイド関連解析

☆阿部 千遥 1, 真壁 由衣 2, 北柴 大泰 2, 西尾 剛 2, 畠山 勝徳 1, 高畑 義人 1 (1. 岩手大学, 2. 東北大学院・農)

P109 イネ生殖細胞特異的 Argonaute 蛋白質 MEL1 と核蛋白質との相互作用

劉 華 1, ○野々村 賢一 1,2 (1. 遺伝研・実験圃場, 2. 総研大・生命科学)

口頭発表講演方法

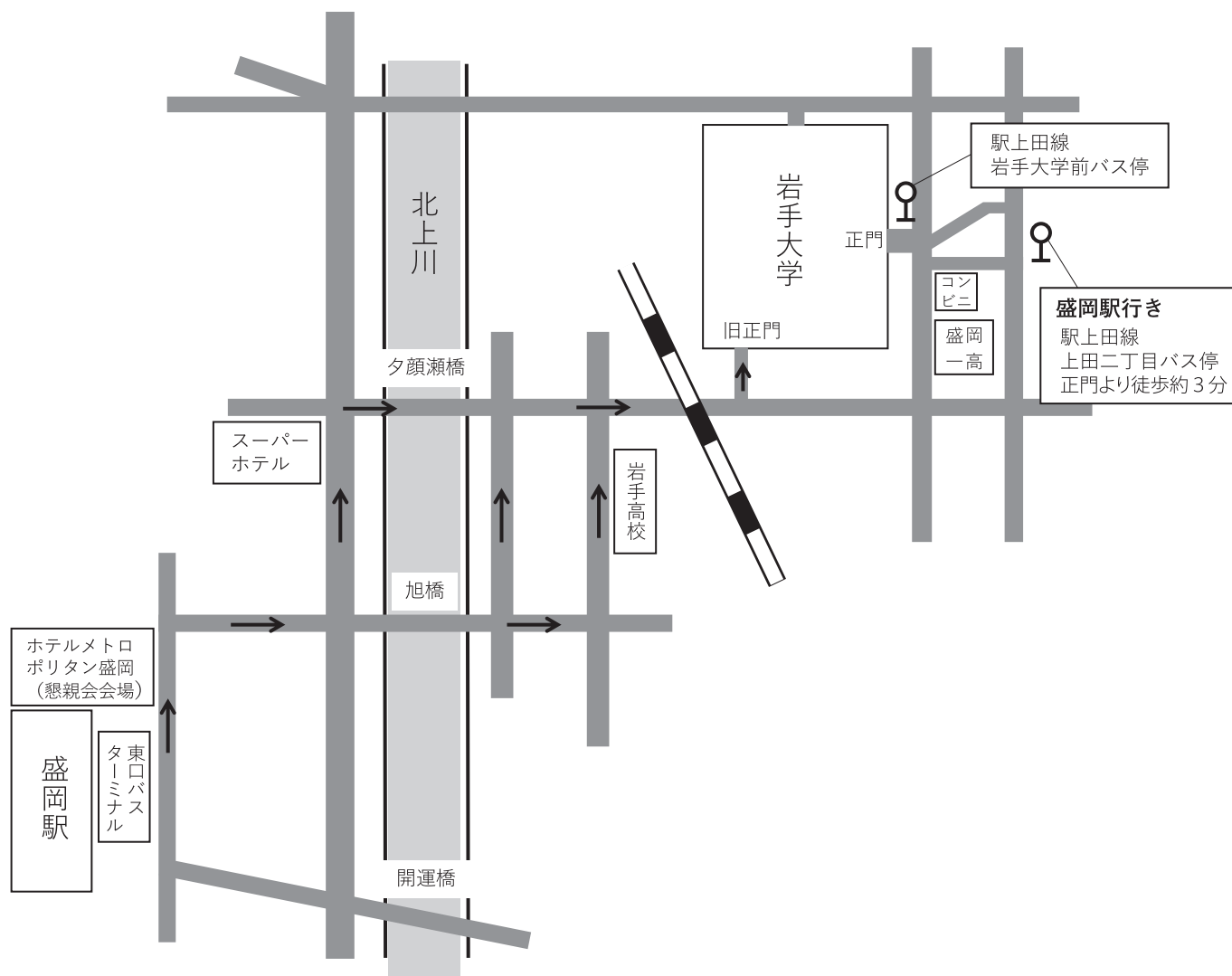
口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。大会当日は試写室に試写用のプロジェクターをご用意いたします。発表者はあらかじめ余裕を持って試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン1台をご用意しますので、**データのバックアップを入れたUSBメモリを必ずご準備ください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を **XGA**（1024×768 ピクセル）に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が **D-sub15 ピン（ミニ）**であることを確認してください。この形状と異なる場合、Mac をご使用になる場合は変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音を **ミュート（消音）** にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次次講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の交替の際に、モニターケーブルの記号（A, B, C, D）に合わせて係員がモニター切替器を操作します。発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。
8. 試写室にはスタッフが常駐しています。不慮の事態における予備のパソコンの貸し出しにつきましては試写室のスタッフにお申し付けください。

その他、ご不明の点は大会運営委員会（jsb132@iwate-u.ac.jp）にお問い合わせください。

講演会場（岩手大学）への交通案内



盛岡駅まで

JR

■東京駅から

東北新幹線はやぶさ 約2時間10分

東北新幹線やまびこ 約3時間

航空機

■花巻空港から

新千歳空港（札幌）、小牧空港（名古屋）、伊丹空港（大阪）、福岡空港からの便があります。

花巻空港から盛岡駅まで リムジンバス 約50分

盛岡駅から岩手大学まで

■バス利用（盛岡駅東口バスターミナルから）

11番のりば（駅上田線）

岩手県交通バス「松園バスターミナル行き」に乗りし、「岩手大学前」下車。所要時間約15分。

*お帰りの際は、行きとは別のルートになります。バス停は岩手大学正門前から徒歩約3分の「上田二丁目」になります。「盛岡駅行き」に乗りし、「盛岡駅」下車。

■タクシー利用

盛岡駅東口から約2km 約10分

■徒歩

盛岡駅から（地図中矢印のルート） 約25分

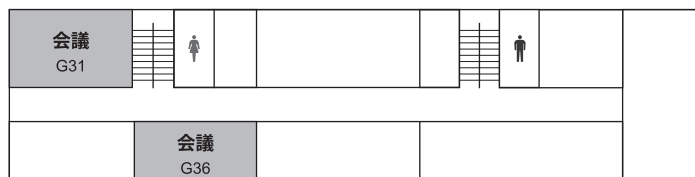
講演会場（岩手大学キャンパス）案内図



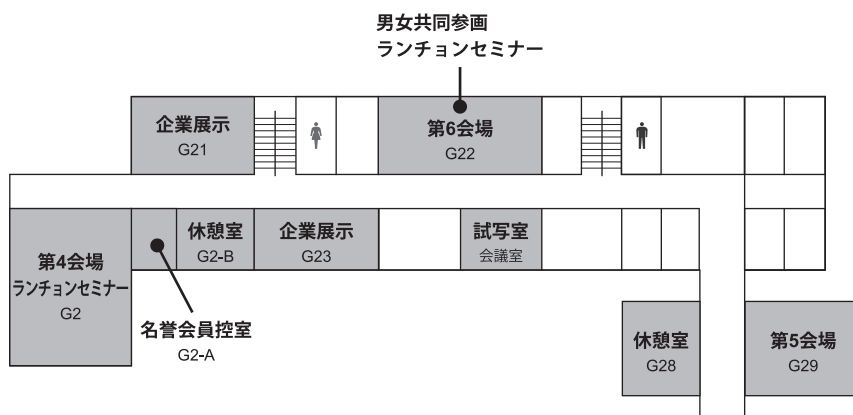
講演会場案内図

学生センター A棟

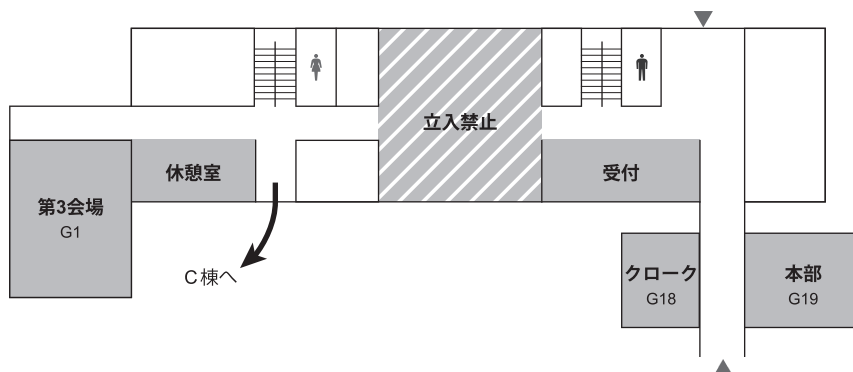
3F



2F

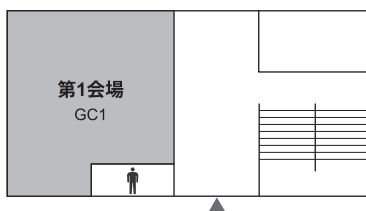


1F



学生センター C棟

1F



2F

